市民貢献人

会報

苦小牧市後見支援員等連絡会
発行人：三河敏規
☎３２－７１１１
FAX３４－８１４１

１２人目

坂井　文氏成年後見人受任

令和元年11月26日付、札幌家庭裁判所苦小牧支部から坂井文（あや）氏に成年後見人選任審判が特別送達されました。

市民後見人は今年度4人目、総人数は12人です。

坂井文氏は平成29年度受講生（第3期生）でNPO法人苦小牧市手をつなぐ育成会副会長、苦社協評議員、他多くの要職に就かれる超多忙な方です。

坂井　文さん

「寄り添い　ともに歩く道・・・」

坂井　文

支援員として悩み迷いながらの1年が過ぎました。毎回これで良かったのか、私は役にたっているのかと思いながらの帰り道でした。講習を受けただけでまだまだ知識のあさい私が支えていく事にたくさんの不安がありました。

障がいがある子を二人かかえる親として今までは支援して頂く側でした。多くの方々に支えられて今があると思っています。いつか我が子が利用すると思う制度がどのようなものなのか知りたくて講習を受けました。学んでいくなかで支援する方達に支えられていると感じ、少しでも役にたつ事が出来たらと思いました。

最近受けた意思決定支援のセミナーの中で「すべての人に意思はある」と話されていました。どんな人にも「思い」や「気持ち」があり自分らしく生きる権利があると。

チーム対応力を基本に何が最善なのかを推測しながら支援していきたいと思います。寄り添い、ともに歩く道と思い、ひとつひとつ積み重ねながら思いや気持ちを感じとれる後見人になりたいです。

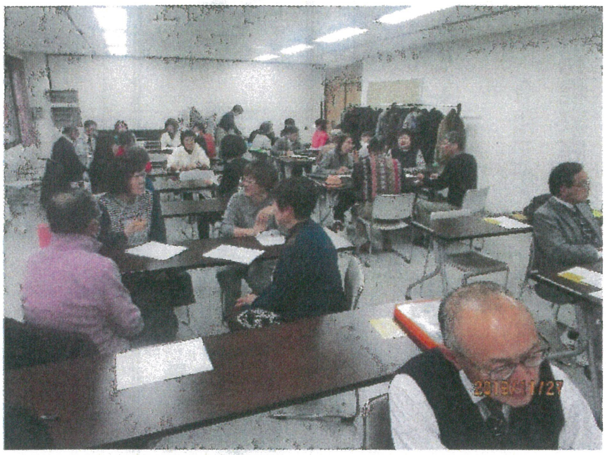
これからも迷い、気持ちに寄り添い、ともに一歩一歩進んで行こうと思います。まだまだ学び足りませんが、後見人としての責任をしっかりと感じながら支援して行きたいと思います。

「好評でした。連絡会研修」

ケアマネジャーの実例に学ぶ

令和元年11月27日（水）苫小牧市後見支援員等連絡会研修会を開催しました。

会場の市民活動センターには会員35名が参集し、ほぼ満席状態でした。ご視察にご来場頂いた市介護福祉課長の亀尾弘美様、市総合福祉課課長補佐の池田寛様には窮屈な思いをさせ、お詫び申し上げます。ご両名様にはこれに懲りず今後ともご支援願います。



▲グループ懇談風景

・・・・・・・・・・

三浦会長あいさつ後、今回の事例発表者である岩村美恵様と舟橋志津子様から、それぞれご自身のケアマネジャーとして関わったケースで成年後見制度につなげた事例の発表を行っていただきました。お二人それぞれ困難なケースに直面した時に逃げずに向き合って成年後見制度に結びつけられたのだと思います。

時に、人は聞かなかった事にしようとか、見なかったことにしようとかを無意識にやっていないでしょうか。筆者である私は思い当たるのです。アンケート回答者27人中25人の方が「参考になった・今後の参考にしたい」との回答を寄せてくださいました。また、「グループ懇談がとても楽しかった」という回答も目立ちました。

一方、「三河さんが何を話しているのか、はっきり聞き取れない。もっとはっきりと話してください」とのご指摘を頂戴しました。（実はよく言われます。気を付けます。新年交流会で頑張ります）

最後になりましたが、事例発表のお二人には衷心より御礼申し上げます。有難うございました。

▲岩村美恵さん

▲舟橋志津子さん